学校番号	３０５

令和８年度　理科

教科	理科	科目	生物	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　生物　Biology（啓林館）						
副教材等	センサー　生物　（啓林館）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年時に学んだ生物基礎の知識・思考をもとに、より高度な生物学的現象・知識を把握させるとともに、日常生活に結び付けて理解できるような応用力を養う。
１．日常生活中での様々な自然現象に興味をもち、その法則性について考える態度をもつこと。
２．疑問に思ったことを確かめてみようという態度をもつこと。
３．学んだことを正確に記録する方法と態度を身につけること。

２ 学習の到達目標

生物基礎での学習を発展させ、目的意識をもって観察・実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を育て、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。
・すべての生命現象について、「分子生物学」の立場から「遺伝子とタンパク質」をもとに解釈や説明ができることを、興味・関心を探究心にまで高め、知的好奇心をもって問題を見いだし，主体的に解決しようとする意欲を高める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物の基本的な概念や知識を理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。	生物が活動する行動・現象から問題を見いだし，見通しをもって観察，実験などを行い，得られた結果を分析して解釈し，表現するなど，科学的に探究している。	生物的な事物・現象に好奇心をもち，主体的に関わり，振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	生物の進化	進化の歴史 有性生殖 進化のしくみ 生物の系統	a:進化の歴史の様々な事象について理解している。 b:進化の過程によって起こる様々な現象・法則について考えることができる。 c:進化によって起こる様々な現象・法則について主体的に学び、さらなる課題に取り組むことができる。	定期考査 小テスト 観察・実験	定期考査 観察・実験	プリント提出 レポート提出
	生命現象と物質	生命と物質 代謝	a:生命現象とタンパク質の関係について理解している。 b:生命現象の反応のしくみについて考えることができる。 c:生命現象について好奇心をもち、主体的に学び、さらなる課題に取り組むことができる。	定期考査 小テスト 観察・実験	定期考査 観察・実験	プリント提出 レポート提出
二学期	遺伝情報の発現と発生	遺伝現象と物質 発生と遺伝子の発現 バイオテクノロジー	a:遺伝子の構造について理解している。 b:遺伝子の発現、調節について考えることができる。 c:バイオテクノロジーについて好奇心をもち、主体的に学び、さらなる課題に取り組むことができる。	定期考査 小テスト 観察・実験	定期考査 観察・実験	プリント提出 レポート提出
	生物の環境応答	刺激の受容と反応 動物の行動 植物の環境応答	a:受容器に関する知識、部位の名称に関して理解している。 b:動物や植物の行動を論理的に考えることができている。 c:日常生活での生物の行動に関して好奇心をもち、主体的に学び、さらなる課題に取り組むことができる。	定期考査 小テスト 観察・実験	定期考査 観察・実験	プリント提出 レポート提出
三学期	生態と環境	個体群と生物群集 生態系	a:生態系における生物や非生物の在り方、エネルギーの動きについて理解している。 b:生物の集団の関係や生態系のしくみについて考えることができている。 c:生物多様性と環境問題について主体的に学び、さらなる課題に取り組むことができる。	定期考査 小テスト 観察・実験	定期考査 観察・実験	プリント提出 レポート提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度